

令和3年度事業報告

我が国の経済状況は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、観光、飲食産業のサービス業等が深刻なダメージを受けました。また、日本経済を支えてきた伝統的な第一次産業、第二次産業及び第三次産業のいずれの分野も農業、建設、サービス、介護等の仕事では、感染拡大で殊更に慢性的な人手不足が続いております。

今後は、従来まで個人消費が上昇し、企業の人手不足を地域の高齢者や女性の潜在労働力を活用し、サービスの安定と地域の雇用の安定を実現させるため、国はシルバー人材センター事業に引き続き高い期待を寄せています。

こうした中、広島県内においては、緊急事態措置又はまん延防止等重点措置等が発出され、感染者が急激に増加し、県内全域で行動の抑制や営業の自粛を余儀なくされました。

このような状況下で、府中町シルバー人材センターの事業実績は新型コロナウイルス感染症の影響で公共施設の管理時間減少や、介護予防事業の開催中止により、請負・委任事業の実績が1.3%減少する一方、適正就業の観点から積極的に取り組んだ派遣事業においては前年度比が110.2%となりました。

また、会員数については、感染症拡大の影響から全国的に会員が減少する中で、当センターにおきましても同様に期中の会員61人が退会し、会員数が激減しましたが、第四次中期計画に基づいた地道な会員拡充、就業開拓を実施した結果、前年度からは下回ったものの17人減の405人となりました。

以下、令和3年度事業実施状況について報告いたします。

(1) 事業運営の健全化と組織体制の強化

公益社団法人として、公益性を重視した事業運営に徹し、公平・公正・透明性のある事業運営を推進しました。

また、コロナ禍の中で多様なサービスを地域に提供できる存在として会員、役・職員の三者が一体となった事業運営を実施しました。

- ① センター組織の決定機関である理事会及び各部会、各委員会の積極的な活動を図り、事務局及び役員並びに会員との連携や情報の共有を密にし事業運営の円滑な推進に努めた。

- ② 公益法人としての経営を視点においた職員の意識改革を図り、適正な役割分担のもとに協力して組織体制の構築に努めた。
- ③ 感染症予防対策により研修会や会議等は概ねオンラインによる開催となりましたが、積極的に参加し、知識・情報の習得を図った。

(2) 会員の増強

第四次中期計画の令和3年度の目標値である会員数468人を達成するため、センターの知名度を高めることで会員増を図るという計画に沿って、2月、3月に集中して新聞へのチラシの折り込みを実施しました。

また、ターゲットを絞ったPR効果を狙いチラシの内容は、現会員数の3割程度にとどまっている女性会員の増強を意識した内容を掲載しました。

- ① 新しい会員を紹介した会員への奨励制度の検討を行った。
- ② 広島県シルバー人材センター連合会が府中町で開催した育成事業に協力し入会促進を図った。
- ③ 保育園、民間事業等に女性会員拡充のための就業の開拓を行った。
- ④ 町の広報紙やホームページ等を活用した入会促進を行った。

(3) 普及啓発活動の強化と実践

普及啓発活動として、10月に「安芸府中シルバーだより 40号」を町内全戸に配布し、町民にシルバー人材センター事業の普及啓発及びPR活動を行いました。シルバーだよりは、会員就業場所の紹介や入会者の声を掲載しました。

全国一斉「シルバーの日」の10月16日にボランティア活動を実施し、52人が参加しました。

また、会員には「事務局だより」を発行し、センターの情報提供に努めました。

(4) 就業機会の開拓・確保

就業機会を創出し、受注の拡大を図るため、職員が就業先に下見や作業確認を行った際には、パンフレットを活用し新たな就業の開拓に努めました。その結果、前年度より受注件数が15件増となりました。

- ① 新しい生活様式に対応するためのツールとして、携帯ショートメッセージ送信サービスを導入し、就業情報を素早く提供できる環境の整備を図った。

- ② 公共からの継続的な就業機会の確保に努めた。
- ③ 個別の就業相談を随時実施した。
- ④ 会員が「ロコミ」で就業開拓した結果、受注件数の増につながった。

(5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

高齢化や労働力人口が減少する中、現役世代の雇用環境向上のため、人手不足分野における派遣事業での就業機会の開拓に努め、高齢者の活躍の場を創出し、高年齢者活用・現役世代雇用サポート事業に取り組みました。

特に、派遣事業は前年度より契約金額が2,308,972円増加し、派遣就業延べ人員が635人の増となりました。

また、就業開拓の結果、令和4年度の新規契約につながることができました。

(6) 安全・適正就業の推進

安全は全てに優先する重点課題であり、「安全就業対策推進実行計画」に基づき事故防止の徹底を図りました。

「事故ゼロ」を目指しておりますが、賠償事故4件(前年度3件)、傷害事故3件(前年度3件)、車両事故0件(前年度1件)でした。

適正就業の推進については、ひとりでも多くの会員が就業できるように、引き続き長期就業の是正を図り、ワークシェアリングを実施しました。

剪定作業等で使用する安全帯の基準が改正されたため、作業会員に改正適合規格の安全帯を貸与し、取り扱いについて説明会を開催しました。

- ① 安全パトロールを年4回実施した。
- ② 安全標語の募集には令和3年度は19人34点が集まり、会員の安全意識の高揚につながった。

(7) 会員の技能向上の推進

令和3年度は、対面による公共施設管理会員の接遇対応の研修会を予定しておりましたが、まん延防止等重点措置期間と重なったため、会員にテキストを配布し理解度チェックシートを記入いただき、理解度の確認を行いました。

また、シルバーママサービス(認可外保育施設)において、広島県教育委員会幼児教育支援センターの「幼児教育アドバイザー訪問事業」を活用し、

研修会を開催しました。主な内容として、就業会員に子育て支援時の子どもの安全を中心に子どもに寄り添った支援等についてご教示いただきました。